

Cubaseを用いた発車メロディーの制作

目的

Cubase 9.5を利用し音楽制作をし、地域の方々に親しみを感じてもらえるような発車メロディーを制作する事で、電車の利用者を増やす。

概要

最新の音楽制作ソフトであるCubaseを使った音楽制作に元々興味があった。北陸鉄道さんに発車メロディーを制作してほしいという依頼をいただき、各駅にちなんだ曲を参考にし、親しみを感じてもらえるような発車メロディーを制作した。

説明

Cubaseとは

作曲から曲の仕上げまで全てできるソフトのことで、ジャズやポップスなど様々な音楽ジャンルに対応できる音楽制作ソフトウェア。

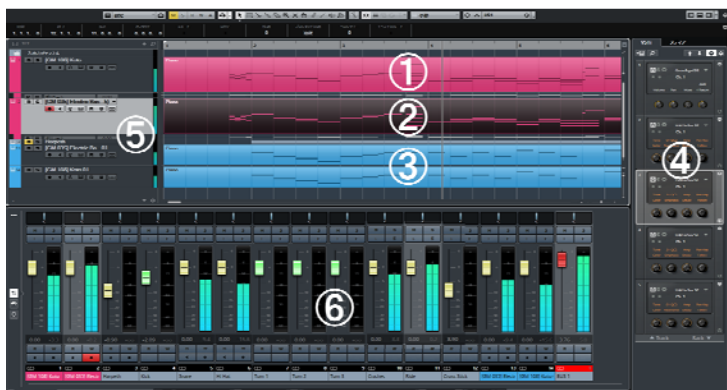


図1. 制作画面

共同製作

電気科が製作したスピーカーで流す。スピーカーによって中低音がよく聞こえたり、中高音がよく聞こえたりなど、音の聞こえ方が違っていたため、自分たちの思った音に聞こえるように試行錯誤を繰り返した。

考察

できたメロディーを電気科が製作したスピーカーから流してみた時と、スピーカーから流れている時では聞こえ方に差があった。メロディーと伴奏の音量バランスなどを少しでも自分のイメージしたものになるように修正を繰り返した。各駅にちなんだ曲を使用したため、イメージを壊さないよう、飽きないようにアレンジするのが大変だった。

著作権について

使用した楽曲は、著作権や使用許可を得るために、様々な場所に問い合わせしたり、自分たちで調べたりするのが大変だった。

制作手順

- ① 楽譜からメロディーを入力する(図1)
- ② メロディーに伴奏をつける
- ③ ドラムなどの打楽器などをつける
- ④ 曲全体を通して、バランスを調整する
- ⑤ アレンジに合う音色を調整する
- ⑥ 制作した曲をスピーカーで聞き、最終調整をする(図2)



図2. 試聴中

感想

出来ている音楽を演奏したりすることは、今までたくさんやってきたが、音楽制作は初めてだったため、演奏するだけの時とは全く違い、苦労した。また、初めて電気科と共同で課題研究をしてみて、お互いの学科の違いや重要性を学び、科同士の関係も深めることができた。